

2025 JR 総連春闘 第2回交渉実施(要求の根拠)

中央本部は2月27日に第2回交渉(要求の根拠)を実施しました。

組合要求の根拠

- ・1月～4月までに食料品約6000品目の値上げが予定されており、組合員の生活は苦しくなる一方である。
- ・要員が厳しい中でも、異常時対応や迂回輸送に対応し、第3四半期では単体で△1億円へ押し戻すなど、収入の確保に努めてきた。
- ・離職率は今年度2.5%の見通しということであり、離職防止の対策をしていきたいというのが、職場の声に耳を傾け、職場の声に沿った対策をするべき。また、組合員の将来展望を見出す為、新規採用者を確保する為にも、今春闘での賃上げは必須である。
- ・若い組合員は「額率併用」となったことで不満が多く残った。「定額回答」を強く求めている。

会社の回答

- ・計画では単体の経常利益は△14億だが、雪害の影響もあり△2億と悪化しており、厳しい状況である。
- ・プランナー職群の離職が多く、離職対策をしなくてはならない。退職の理由として給与もあるが、人間関係が多く上がっている。対策としてメンター制度の導入やフォロー研修などを入れていきたい。
- ・組合側の言うことは痛いほど理解はする。経営状況など、いろいろと判断していかななくてはならない。

会社は、「社内で議論し、次回会社としての考えを示したい」と回答しました。物価の高騰により日々の生活が苦しくなる中で、連結で黒字がギリギリだから厳しいという会社の姿勢は、来年度の「新賃金の申し入れ」の趣旨を理解しているものとは思えません。これから **闘争ゾーン** に突入します。我々青年部員は会社側へ団結力を示すべく、**各職場で集会やレクなどの結集できる場づくりやFAX行動などの取組み**を展開し、青年部員の声を集めて交渉を押し上げていきましょう！

**「満額回答」と完全「額回答」を勝ち取るべく、
青年部組織は最後まで団結してたたかおう！**